

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 名称 | アサガオ [英]Japanese morning-glory, whiteedge morning-glory [学名]Ipomoea nil, Pharbitis nil Choisy |
| 概要 | <p>ひるがお科に属するつる性の1年草。熱帯アジア原産で、日本と中国で栽培されるが、専ら観賞用である。種子(牽牛子/ケンゴシ)は、利尿・殺虫を兼ねた峻下剤、緩下剤として下半身の水腫、尿閉症などに用いられ、日本では、「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に該当するため、種子を食品に使用することはできない。尚、チョウセンアサガオ(Datura metal L.)はナス科に属し植物学的にアサガオとは異なり、花や葉、種子にアルカロイドを含み全身麻酔や鎮痛、鎮咳薬として用いられる。誤食による食中毒の原因ともなっている。また朝顔菜はアサガオと同じひるがお科に属するが植物学的には異なり、別名ヨウサイ、空心菜(Ipomoea aquatica)とも呼ばれ、サラダや炒め物に用いられる。</p> |
| 法規・制度 | <ul style="list-style-type: none">■ 食薬区分<ul style="list-style-type: none">・ 種子(ケンゴシ)：「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に該当する。・ 葉・花：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。■ 日本薬局方<ul style="list-style-type: none">・ ケンゴシが収載されている。 |

| | | |
|----------|--|-----------------|
| 成分の特性・品質 | | |
| 主な成分・性質 | 種子はファルピチン（樹脂配糖体類）、ニール酸、没食子酸を含む。ファルピチンは混合物であり、オキシ脂肪酸の各種カルボン酸エステルの配糖体である(7)。 | |
| 分析法 | - | |
| 有効性 | | |
| ヒトでの評価 | 循環器・呼吸器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 消化系・肝臓 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 糖尿病・内分泌 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 生殖・泌尿器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 脳・神経・感覚器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 免疫・がん・炎症 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 骨・筋肉 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 発育・成長 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 肥満 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | その他 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 参考文献 | (7) 中薬大辞典 小学館 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (101) 世界有用植物事典 平凡社 (102) 世界の食用植物文化図鑑 柊風舎 (103) 「食品衛生の窓」 たべもの安全情報館 東京都福祉保健局 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) | |